

【共通問題】

3 結び付く現代世界に関して、問1～問4に答えよ。

問1 次の資料1は、世界の輸出額上位5か国(2006年)について示したものである。資料1から読み取った内容として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 9。

資料1

国名	輸出額 (百万ドル)	輸入額 (百万ドル)	一人あ たりの 輸出額 (ドル)	輸出相手国・地域		
				第1位	第2位	第3位
ドイツ	1,125,877	718,269	13,669	フランス	アメリカ合衆国	イギリス
アメリカ合衆国	1,038,270	1,525,680	3,468	カナダ	メキシコ	日本
中華人民共和国	969,380	560,583	737	アメリカ合衆国	ホンコン	日本
日本	649,948	454,592	5,087	アメリカ合衆国	中華人民共和国	大韓民国
フランス	487,524	536,029	7,946	ドイツ	スペイン	イタリア

注) 中華人民共和国のデータには、ホンコンと台湾のデータは含まれていない。

(『世界国勢図会 2008/09年版』などにより作成)

- ① 世界の輸出額上位5か国は、いずれの国も一人あたりの輸出額が1,000ドルを超えている。
- ② 世界の輸出額上位5か国は、いずれの国もそれぞれ同じ大陸にある国・地域が、輸出相手国・地域の上位3か国をしめている。
- ③ 世界の輸出額上位5か国のうち、アメリカ合衆国は貿易収支の赤字額が最も大きい。
- ④ 世界の輸出額上位5か国のうち、日本は貿易収支の黒字額が最も大きい。

問 2 次の資料 2 は、おもな国の鉄道と航空機による国内貨物輸送量の変化について示したものである。資料 2 中のア～エは、それぞれインド、中華人民共和国、アメリカ合衆国、フランスのいずれかである。中華人民共和国とフランスの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

資料 2

国名	鉄 道(億トンキロ)				航 空 機(百万トンキロ)			
	1980年	1990年	2000年	2004年	1980年	1990年	2000年	2004年
日 本	393	267	221	225	1,871	5,128	7,881	8,708
ア	13,417	15,096	21,456	22,707	8,371	14,650	30,825	37,450
イ	5,707	10,622	13,902	19,289	121	683	4,780	7,024
ウ	1,477	2,358	3,124	3,812	366	681	712	708
エ	688	637	699	450	1,986	3,748	4,687	5,584

注) ・トンキロ…輸送重量(トン)×輸送距離(キロ)

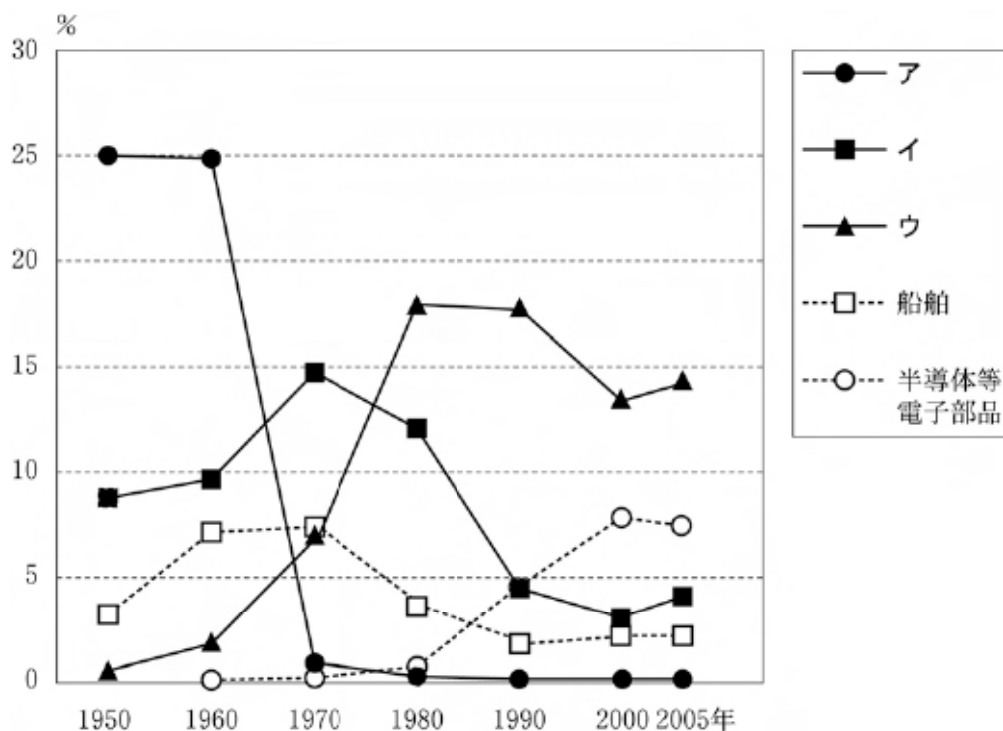
・中華人民共和国のデータには、ホンコンと台湾のデータは含まれていない。

(『世界国勢図会 2008/09 年版』などにより作成)

	中華人民共和国	フランス
①	ア	ウ
②	ア	エ
③	イ	ウ
④	イ	エ

問 3 次の資料 3 は、1950～2005 年における日本のいくつかの輸出品の総輸出額に占める割合の変化について示したものである。資料 3 中のア～ウは、それぞれ鉄鋼、綿織物、自動車のいずれかを示している。ア～ウと輸出品の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

資料 3

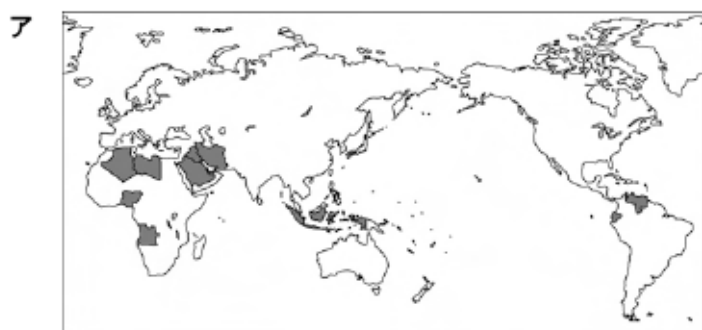


注) 半導体等電子部品は、1980 年以前は半導体素子等で、1950 年は分類がされていなかった。
(『日本の 100 年』などにより作成)

	ア	イ	ウ
①	鉄 鋼	綿織物	自動車
②	綿織物	鉄 鋼	自動車
③	綿織物	自動車	鉄 鋼
④	鉄 鋼	自動車	綿織物



問 4 現代の国家は、様々な目的のもとに、国家間の結合を強めた国家群を形成している。次のア～エは、それぞれ NAFTA (北米自由貿易協定)、OPEC(石油輸出国機構)、NATO(北大西洋条約機構)、APEC(アジア太平洋経済協力会議)の加盟国のいずれかを示している。NAFTA と NATO にあてはまるものを選び、おもな活動内容との組合せとして最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **12**。



注) 加盟国は、2008 年末現在 (加盟停止中を含む) のものである。

	NAFTA		NATO	
	加盟国	おもな活動内容	加盟国	おもな活動内容
①	ア	石油の利益確保と安定供給	イ	政治・軍事面の安全保障
②	ア	石油の利益確保と安定供給	イ	森林資源の保護と開発
③	ウ	自由貿易と投資機会の拡大	エ	森林資源の保護と開発
④	ウ	自由貿易と投資機会の拡大	エ	政治・軍事面の安全保障

【共通問題】

- 4 あきらは、世界の居住・都市問題について調べることにした。このことに関して、問1～問4に答えよ。

問1 あきらは、おもな国のGDP(国内総生産)に関する資料1を得た。この資料から読み取ったこととして不適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

資料1

	日 本 (2006年)	アメリカ合衆国 (2006年)	中華人民共和国 (2006年)	インドネシア (2004年)
国民一人あたりのGDP (ドル)	34,252	43,562	2,055	1,065
最大都市住民一人あたりの GDP(ドル)	68,137	56,017	7,236	3,705
最大都市が国全体に占める 人口の割合(%)	9.8	2.7	1.1	3.9

注) ・各国の最大都市は、東京(都)、ニューヨーク、シヤンハイ、ジャカルタとする。
・中華人民共和国はホンコン、マカオ及び台湾を除く。

(『世界の統計』などにより作成)

- ① 最大都市住民と国民のそれぞれ一人あたりのGDPでは、いずれの国も最大都市住民の方が高い。
- ② 最大都市が国全体に占める人口の割合の高い順に、国民一人あたりのGDPが高い。
- ③ 日本は、最大都市住民と国民のそれぞれ一人あたりのGDPの差額が最も大きい。
- ④ 各国の国民一人あたりのGDPをそれぞれ1とした場合、最大都市住民一人あたりのGDPの数値が最も小さくなるのは、アメリカ合衆国である。

問 2 あきらさんは、ある国の首都の景観写真である資料 2 及び資料 3 を得た。また、この都市について調べたことを資料 4 にまとめた。この都市の名称及び資料 4 の **X** にあてはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。
 解答番号は **14**。

資料 2 旧市街の様子



資料 3 日本の資金協力により開通した地下鉄の看板



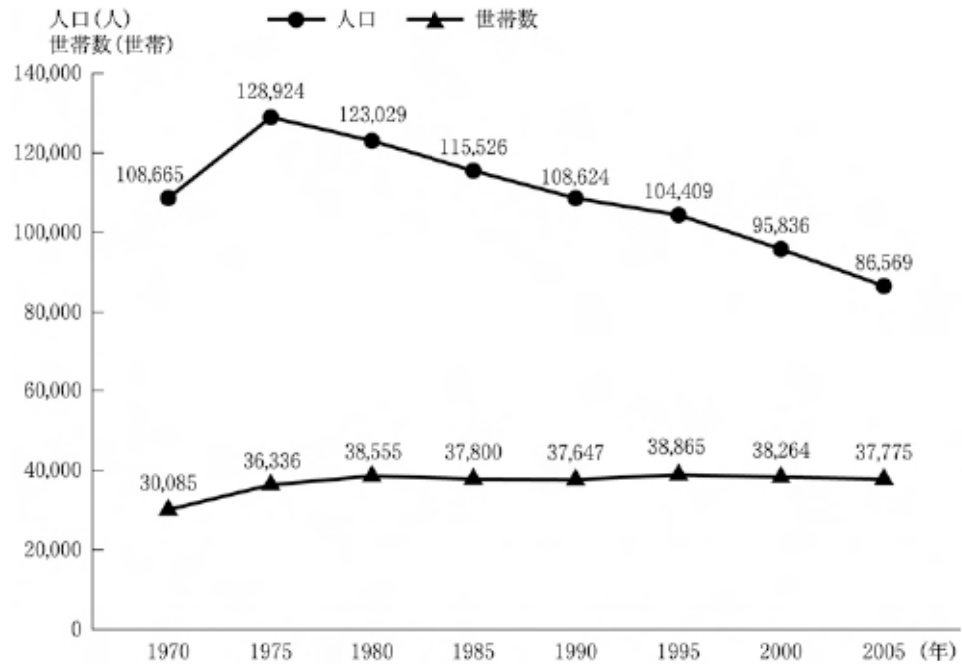
資料 4

- ・ BRICs 諸国の一つである国のこの都市は、首都機能をもつ新しい地区とは対照的に、旧市街は雑然としているのが特徴である。(資料 2)
- ・ 人口は 1991～2001 年の間に 46.3% 増加して 1,378 万人となった。2001 年の人口密度は 9,294 人/km² と東京都の 5,750 人/km²(2005 年)を大きく上回る。このような人口集中が住環境を悪化させる最大の要因となっていると考えられる。
- ・ 資料 3 の地下鉄の建設は、通勤人口の増加に伴う **X** の問題解消の手段として期待されている。

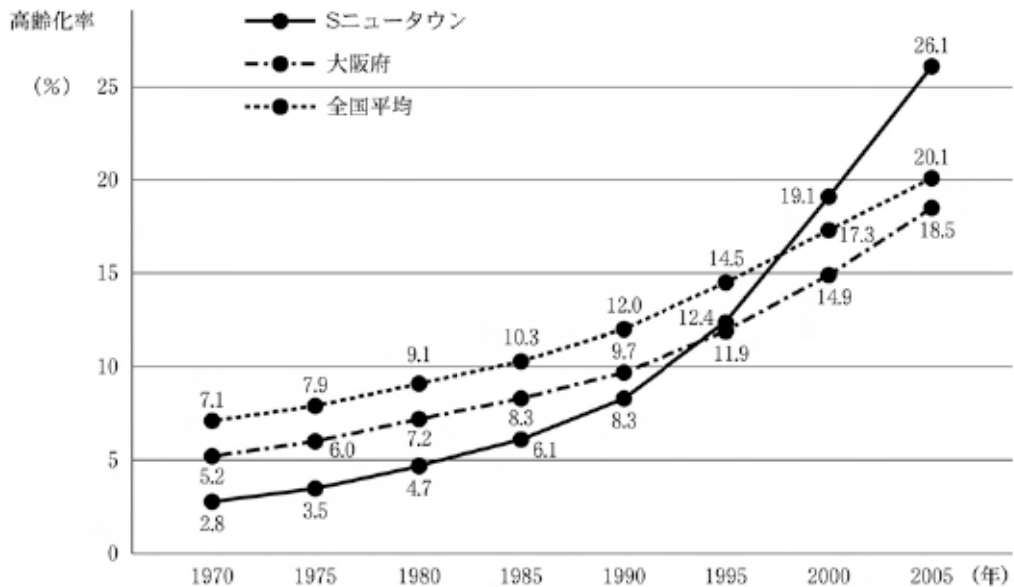
	都 市 名	X の 語 句
①	デリー	交通渋滞
②	デリー	インナーシティ
③	メキシコシティ	インナーシティ
④	メキシコシティ	交通渋滞

問 3 あきらさんは、1960年代に入居が開始された大阪市近郊にあるSニュータウンに関する資料5と資料6を得た。これらの資料から読み取ったものとして不適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

資料5 Sニュータウンの人口と世帯数の推移



資料6 Sニュータウンと大阪府、全国平均の高齢化率の推移

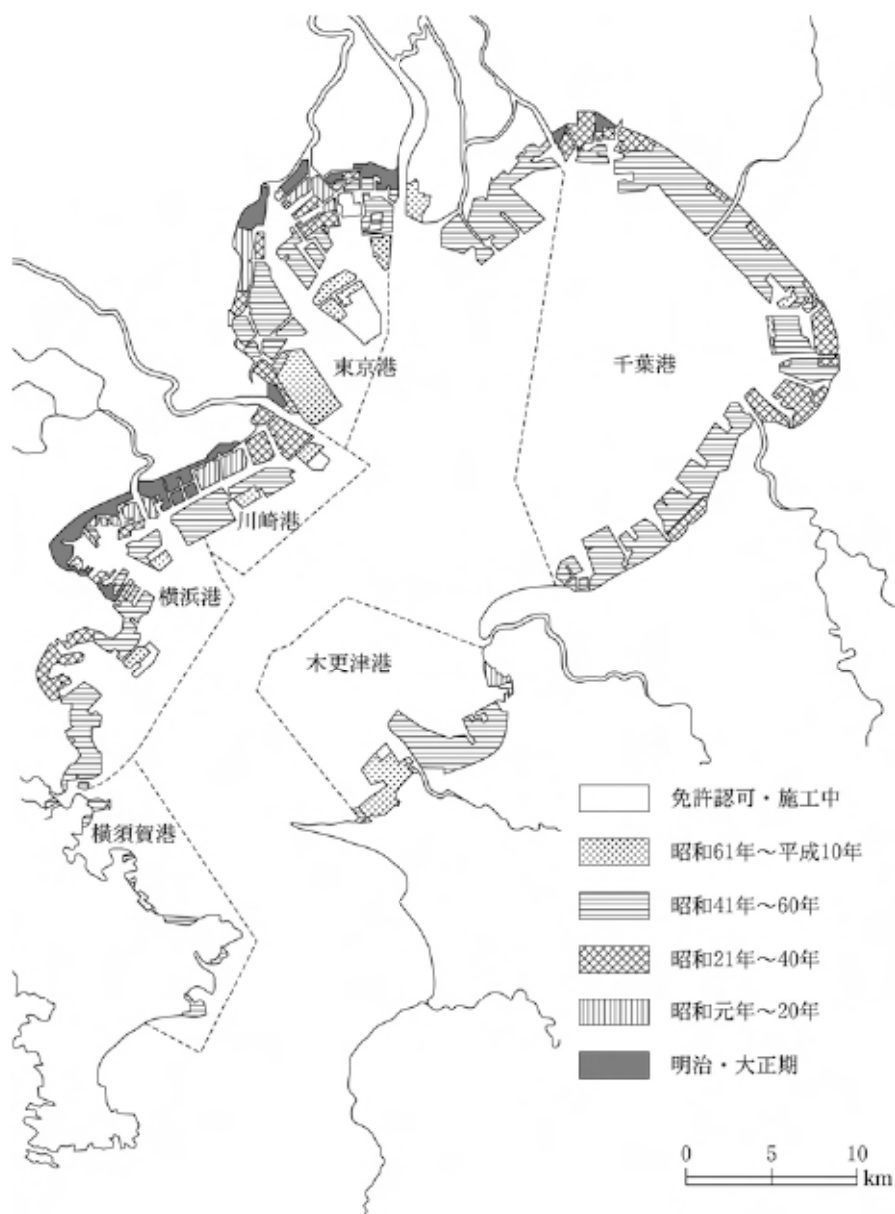


注) 高齢化率とは、対象人口に占める65歳以上の高齢者の割合を指す。
 (http://www.kepco.co.jp/insight/content/column/library/library142.html により作成)

- ① 1970年と2005年を比べると、Sニュータウンでは人口は減少しているが、世帯数は増加している。
- ② 2005年のSニュータウンの1世帯あたりの人口は、1970年より減少している。
- ③ 1970年には、Sニュータウンと大阪府、全国は、ともに高齢化率が10%未満だったが、2005年にはいずれも高齢化率が20%を超えている。
- ④ 2000年から2005年の間では、Sニュータウンの高齢化率は、大阪府や全国平均より高くなっている。

問 4 あきらさんは東京湾の埋立地の拡大について興味を持ち、資料7と資料8を得た。これらの資料から読み取った文として不適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。
 解答番号は 16。

資料7 東京湾の年代別埋立地



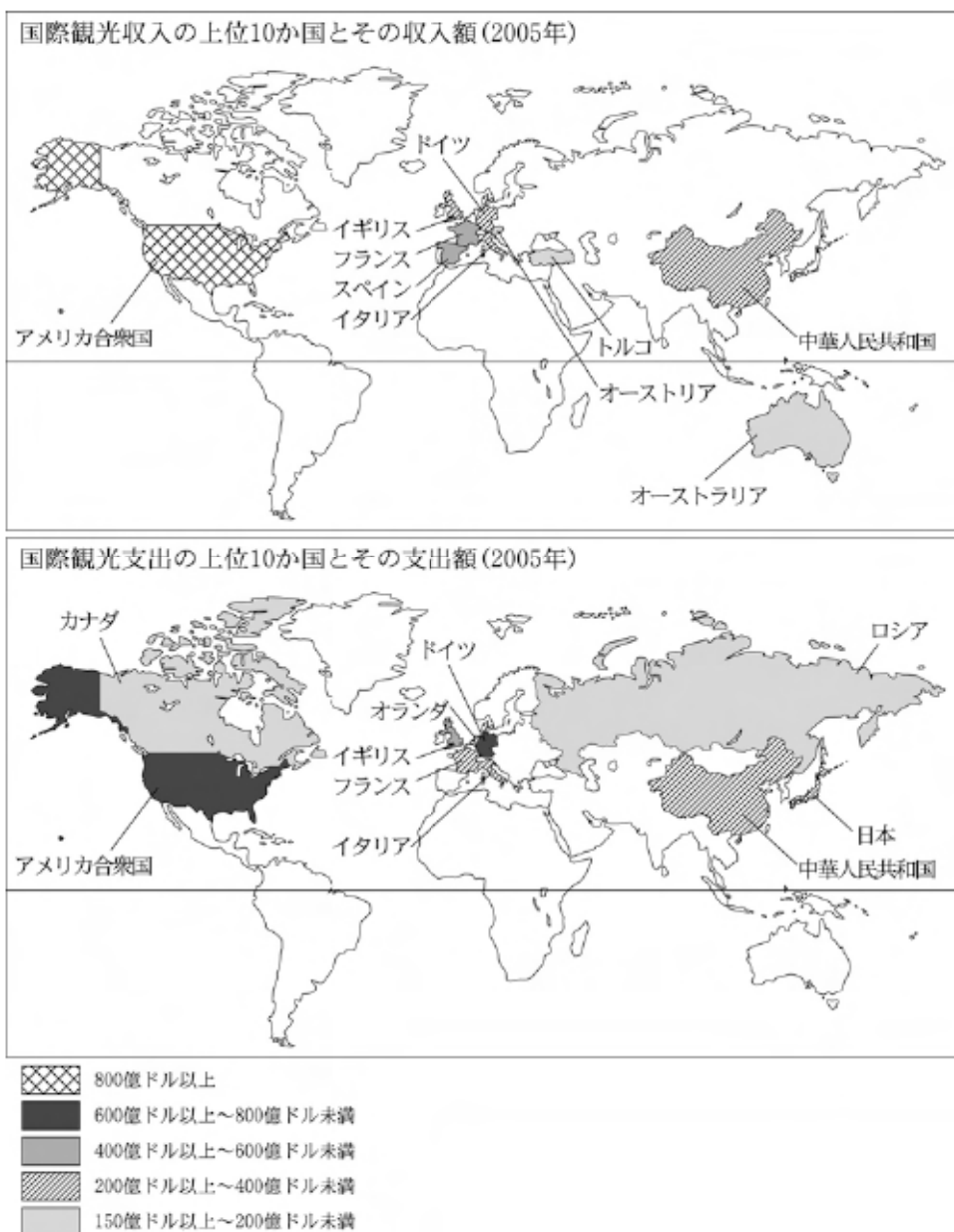
(『平成19年版首都圏白書(2007)』から作成)

【選択問題】

5 世界の観光に関して、問1～問4に答えよ。

問1 次の国際観光収入と国際観光支出に関する資料1を読み取った文として最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

資料1



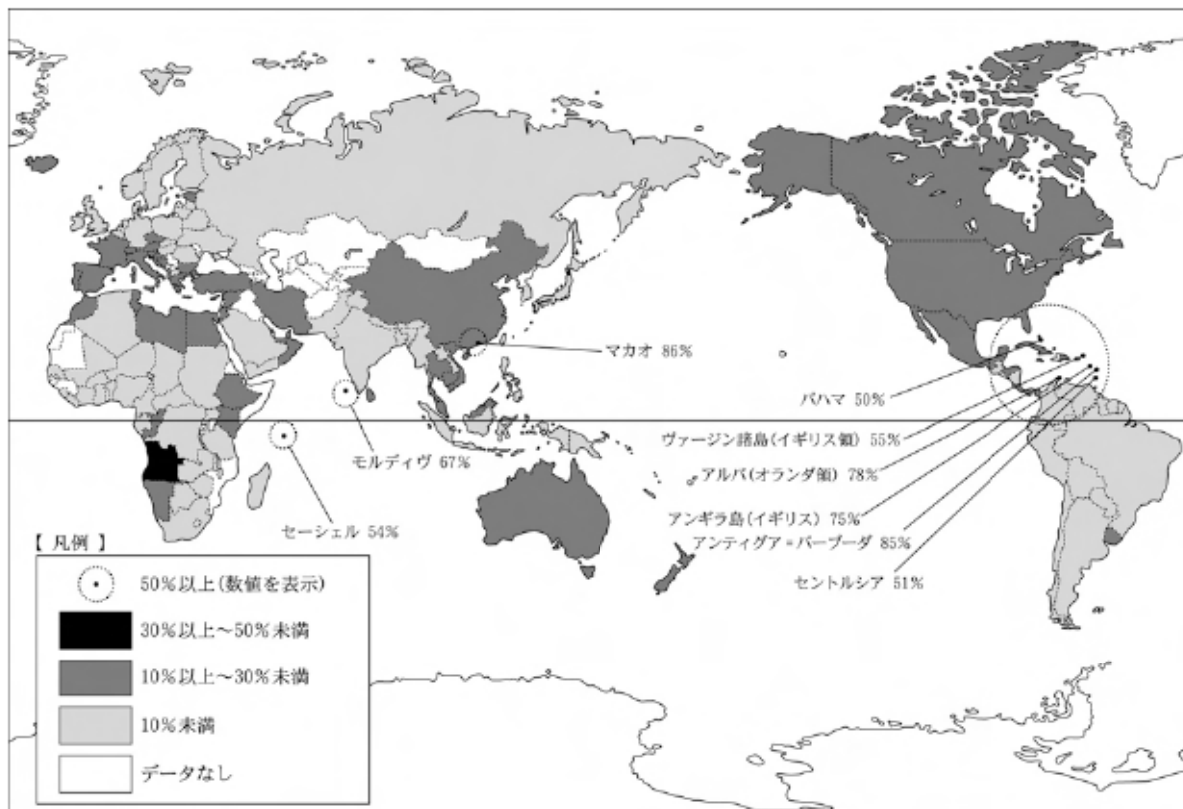
注) 中華人民共和国の数値は、ホンコン、台湾を除く。

(世界観光機関資料により作成)

- ① フランスは、国際観光収入額よりも国際観光支出額の方が額が大きい。
- ② アメリカ合衆国以外には、国際観光収入額と国際観光支出額がともに 600 億ドル以上の国は存在しない。
- ③ アジアには、国際観光収入額よりも国際観光支出額の方が額が大きい国は存在しない。
- ④ 国際観光収入と国際観光支出の上位 10 か国は、すべてが北半球に分布している。

問 2 次の資料 2 は、2006 年における GDP 全体に占める観光産業の割合を示した図である。資料 2 を読み取った文として最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。
 解答番号は 18。

資料 2

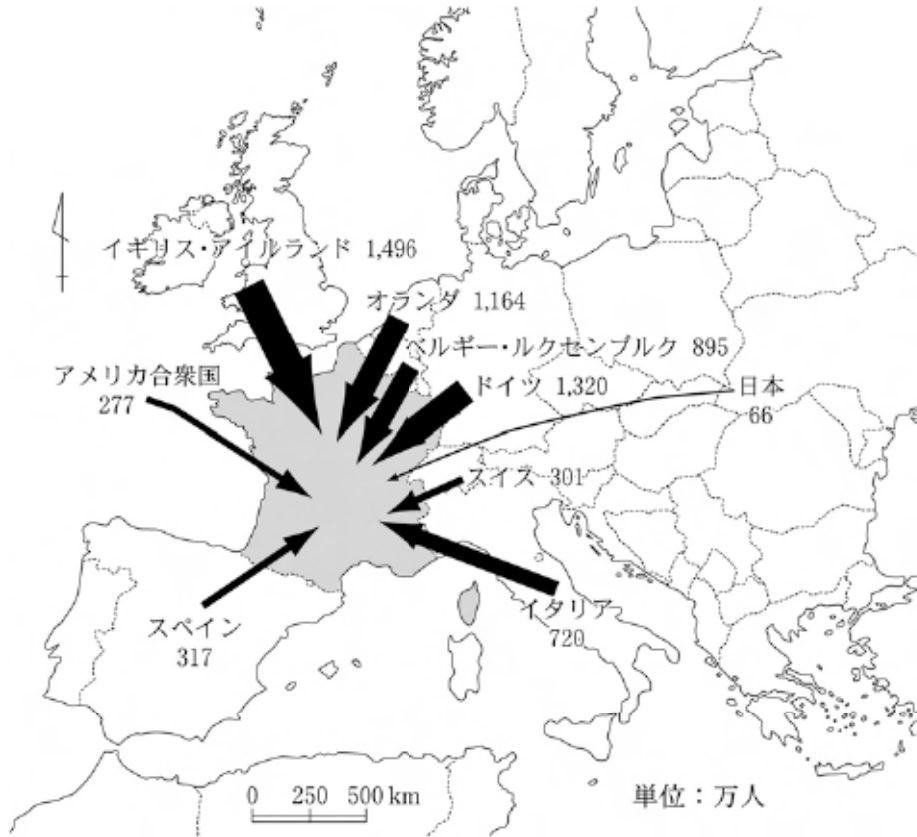


(世界観光機関資料などにより作成)

- ① 東南アジア地域では、GDP全体に占める観光産業の割合が、10 % 以上の国または地域は存在しない。
- ② ヨーロッパの地中海沿岸地域では、GDP全体に占める観光産業の割合が、10 % 以上～30 % 未満の国または地域が半数以上を占めている。
- ③ カリブ海地域には、GDP全体に占める観光産業の割合が、50 % 以上の国または地域は存在しない。
- ④ 赤道以南の南アメリカ地域には、GDP全体に占める観光産業の割合が、10 % 未満の国しか存在しない。

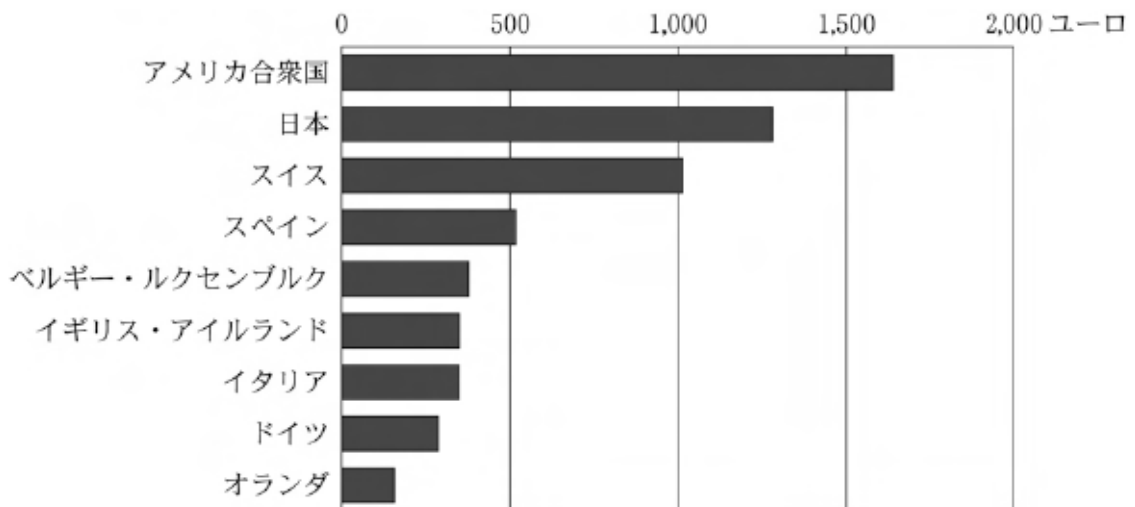
問 3 次のフランスの観光に関する資料 3 と資料 4 を読み取った文として最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **19**。

資料 3 フランスを訪れたおもな国の外国人観光客数(2005 年)



(フランス観光省ホームページにより作成)

資料 4 資料 3 の各国観光客一人あたりのフランスにおける観光支出額(2005 年)



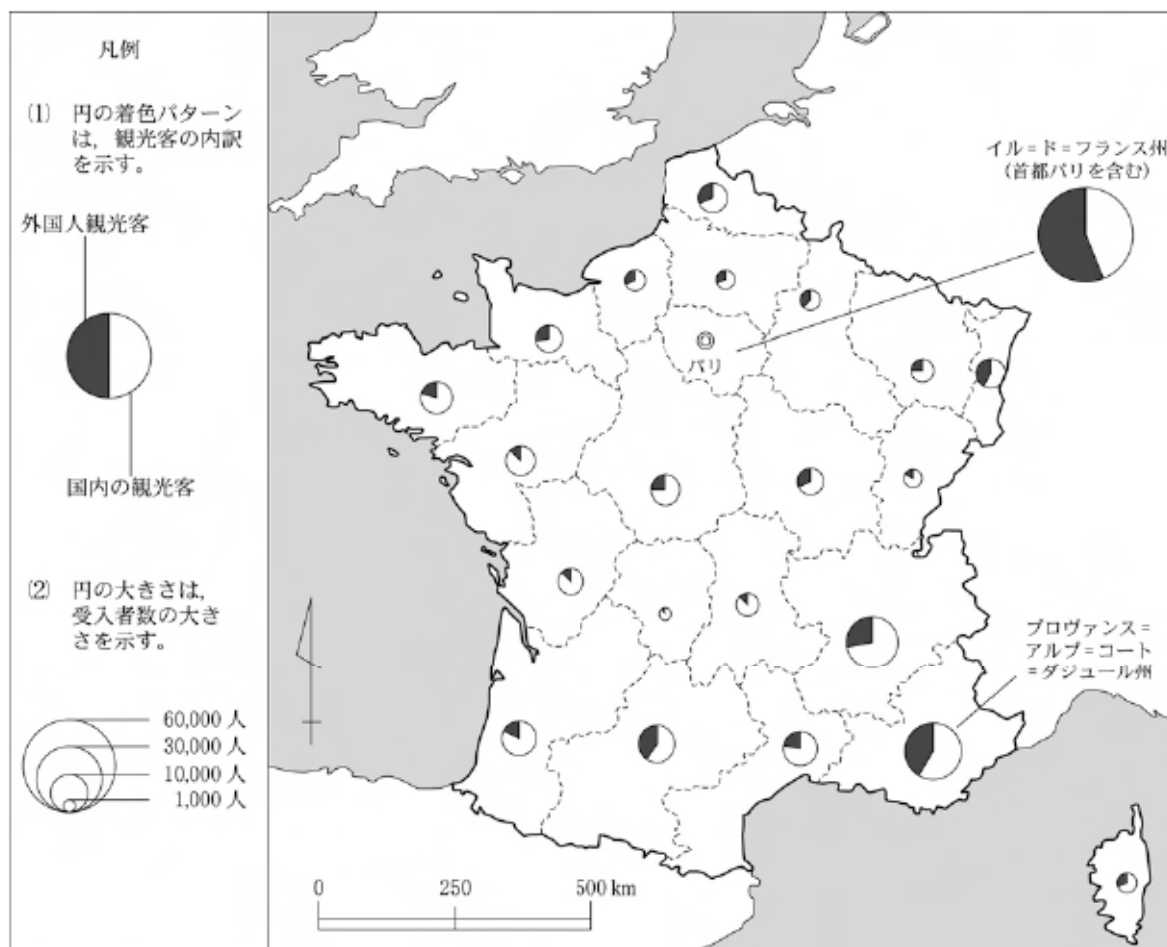
(フランス観光省ホームページにより作成)

- ① フランスを訪れた観光客の数が、1,000万人未満の国はフランスと地続きの国にはない。
- ② ヨーロッパの国々には、観光客一人あたりのフランスにおける観光支出額が、1,000ユーロを超えた国はない。
- ③ フランスを訪れた日本人観光客の数は1,000万人未満であるが、日本の観光客一人あたりのフランスにおける観光支出額は1,000ユーロを超えている。
- ④ フランスを訪れた観光客の数と、観光客一人あたりのフランスにおける観光支出額は、ともにフランスからの距離が遠いほど少なくなる傾向がある。

問 4 次の資料 5 は、2005 年のフランス各州における観光客の受入者数等を示している。資料 5 を読み取った文として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 20。

資料 5



(財団法人自治体国際化協会「フランスの観光政策」により作成)

- ① イル＝ド＝フランス州に隣接する五つの州すべてが、観光客の受入者数が 30,000 人以上となっている。
- ② イル＝ド＝フランス州は、観光客の受入者数のうち外国人観光客が占める割合が、全州の中で最も大きい。
- ③ プロヴァンス＝アルプ＝コート＝ダジュール州は、観光客の受入者数のうちの国内の観光客の占める割合が、海に面した州の中で最も大きい。
- ④ 外国と陸地部分で接しているすべての州で、観光客の受入者数のうち外国人観光客が占める割合が、過半数を占めている。

